

令和6年第1回

# 荒川区教育委員会定例会

令和6年1月12日

於)特別会議室

荒川区教育委員会

令和6年荒川区教育委員会第1回定例会

1 日 時	令和6年1月12日	午後2時00分
2 場 所	特別会議室	
3 出席委員	教 育 長 委 員 委 員	高 梨 博 和 小 林 敦 子 長 島 啓 記
4 欠席委員	教育長職務代理者 委 員	坂 田 一 郎 繁 田 雅 弘
5 出席職員	教 育 部 長 教 育 総 務 課 長 教 育 施 設 課 長 教 育 施 設 計 画 担 当 課 長 学 務 課 長 指 導 室 長 教 育 セ ン タ ー 所 長 ゆいの森課長 書 記 書 記 書 記 書 記 書 記	三 枝 直 樹 山 形 実 的 場 寛 田 中 欣 也 佐 藤 彰 洋 下 条 知 淑 杉 山 茂 山 下 英 男 原 田 正 伸 松 本 典 之 齋 藤 一 幸 丸 田 恭 雅 宮 島 弘 江

( 1 ) 報告事項

- ア 令和5年度荒川区教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果について
- イ 令和5年度文部科学大臣優秀教職員表彰の被表彰教職員について
- ウ 令和5年度東京都教育委員会職員表彰被表彰者について
- エ 第16回柳田邦男絵本大賞の受賞者について

( 2 ) その他

教育長 ただいまから荒川区教育委員会令和6年第1回定例会を開始させていただきます。

初めに、出席者数の御報告を申し上げます。本日、3名出席でございます。

議事録の署名委員につきましては、小林委員、長島委員、御両名にお願いいたします。よろしく申し上げます。

10月13日開催の第19回定例会及び10月27日開催の第20回定例会の議事録を皆様にお送りしてございます。次回の定例会で承認についてお諮りいたしたいと考えてございます。恐縮ですが、次回までに御確認いただき、お気付きの点等について事務局まで御連絡をお願いいたします。

それでは、ただいまから本日の議事日程に従いまして、議事を進行させていただきます。

本日は報告事項が4件となっております。

初めに、報告事項ア「令和5年度荒川区教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果について」を議題といたします。山形教育総務課長、説明をお願いします。

教育総務課長 「令和5年度荒川区教育委員会主要施策に関する点検・評価の実施結果について」でございます。

資料の3ページを御覧いただければと思います。

ポイントのところでございます。地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づきまして、教育委員会の点検・評価につきまして、本年度の実施結果及び昨年度の実施結果に対し報告をするものでございます。

内容のところを御覧いただければと思います。

主要施策の点検・評価につきましては、平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正されまして、平成20年度から毎年その権限に属する事務の管理及び状況について点検・評価を行いまして、議会の報告、公表が義務付けられております。これに基づきまして、本年度の報告をさせていただくところでございます。

2番目でございます。令和5年度、本年度の対象は、体育と道徳、この2教科でございます。外部評価を行いました学識経験者につきましては、荒川区の教育行政をある程度知っている方をこれまでもお願いをしているところでございます。

体育の担当につきましては、荻原朋子氏。順天堂大学スポーツ健康科学部スポーツ科学科先任准教授でございます。道徳の担当については、赤堀博行氏。帝京大学教育学部初等教育学科教授。元尾久小学校の教諭でございます。

経過につきましては、御覧いただきましたように、昨年度まではコロナでなかなか視察が難しいところもあったのですが、本年度については5類になったことで十分御視察を頂いたところでございます。

5番、外部評価の概要でございます。実際の報告書からは、まず、この資料の18ページ以降が体育の評価になっているところでございます。概要のところを御説明させていただければと思います。

新体力テストの結果につきまして、荒川区の児童生徒の体力につきましては、都の平均をやや下回っているところでございます。小学校の高学年の女子と中学校の1年生の女子で、体力合計点では都平均を上回っておりますが、そのほかの学年等については下回っているところでございます。

体力向上に関わる取組につきましては、各学校におきまして、体育主任研修会の実施ですとか、体力向上週間の設定、例えば縄跳び検定だとか、一輪車検定だとか、そういうような各学校で取組を行っているところでございます。

体育の授業の改善につきましては、今回御視察いただきましたのが赤土小学校です。小学校の高学年で教科担任制の導入をしております。中学校では体育教員という形でありますけれども、小学校ですとクラス担任ですが、その中で赤土小学校は、一部で体育としての教科担任を置いているところでございます。このことについては高く評価を頂きまして、授業準備の短縮ですとか、授業の改善の仕方などが改善できるという評価を頂いているところでございます。

中学校につきましては、LGBTQですとか、他国籍の生徒への配慮、また、プールの女子に対する配慮などの必要性が今後求められているところでございます。

また、屋外運動場の狭さですとか、距離について、例えば諏訪台中学校の第二グラウンドなどについては、体育の授業の中では少し障害があるという点が指摘されました。

ICTの活用でございます。実際にICT、タブレットを使って走る姿の動画などを撮っているところもあるのですが、かなりタブレットも古くなってきたところもありまして、動きが悪くなってきたりですとか、Wi-Fiですので、屋外ですとちょっとつながりにくいという御指摘も頂いているところでございます。

運動部の活動における外部指導員については、まだ部活の地域移行については今、検討しているところですが、報償費で探しております外部指導員については、適切に配置、指導が良好に行われていると御指摘いただきました。

体育の方のまとめでございます。体育の授業については、やはり楽しい、どの教科もそうなのですが、楽しく体育の授業を受けるというのが重要であり、学校全体としても長期的にそういう楽しめるような取組を行うほうがよい。また、清里や下田の移動教室で実際に体を動かすということは、卒業後も、例えば登山ですとか水泳を続けることなど、体育の継続的なものにつながると評価を頂いたところでございます。

次の4ページを御覧いただければと思います。道徳でございます。

本報告書の方では27ページ以降のところに記載してあるところでございます。

まず1点目、教育活動全体を通じた道徳教育についてでございます。

赤堀先生は、教育、学校で行う活動そのもの、全体が道徳に結びつくよという考え方をお持ちで、全体計画を全校から出させていることについては、評価を頂いたところでございます。また、計画の内容についても、今後も見直しを期待したいと御指摘を頂きました。

また、例えば校内の掲示物、人権の標語ですとか、いじめの防止の標語は、人権の普及啓発活動には意義深いと御指摘を頂きました。

道徳科の授業についてでございます。

道徳教育の中心については、道徳教育推進教師が任命されているところでございます。このスキルが重要でございますので、教育委員会で実施をしております道徳教育推進教師の研修は教師のスキルアップをする上では重要だと御指摘いただきました。

また、荒川区で独自に作っております荒川区道徳教育郷土教材集、単なる教科書だけではなく、荒川区独自のものというのは身近に感じられる教材であり、活用を期待したいと御指摘いただきました。

また、教師の自主的な研究団体であります荒教研は横のつながりも含めて、道徳科の授業向上にはやはり非常に効果的な活動であると評価を頂いています。

今回、御提案で荒川区では実施をしてございませんが、道徳教育コーディネーターという制度を設けている自治体もございます。今後、そういったものも考えてよいのではないかと御意見を頂いたところでございます。

家庭や地域との連携につきましては、視察をしていただいた学校がちょうど研究発表を行っていたところでございます。保護者や地域の方々が実際に参加をされて見られていた。こういったことは子どもたちだけでなく、地域ですとか保護者も一緒に取り組むというのは効果が期待できる。

全体といたしましては、道徳教育に関わる取組としては総じて良好であるという評価を頂いて、今後も道徳教育の一層の推進に期待をしたいとまとめていただきました。

6番でございます。今回の報告書は道徳と体育ですが、前年度、昨年度が社会と理科の状況についての今年度の対応状況でございます。

書いてまとめることについては、思考力育成には欠かせない、ICTのすみ分けをという御指摘を頂いたところでございます。これについては、ICTはあくまでもツールとして捉えてはございますので、教師のところにタブレットPC活用指針をちゃんと策定しまして、配布をして、ICTと書いてまとめるというところ、これをしっかりすみ分けをして活動し

ていきたいと考えているところでございます。

また、昨年、観察実験アシスタント、小学校の教員が理科の実験をするとき、アシスタント、例えば試験管で酸素を作る実験だとか、そういうものをアシスタントする者がございます。昨年、御指摘いただいて、全校配置ができていないので、教育委員会としてもなるべく人材確保に努力すべきという御指摘を頂きました。東京都の中に人材バンクがございますので、そういったものを紹介するとともに、区のホームページでも公募をしているところでございます。

また、先ほどの体育のところでも出てきましたが、昨年も下田から見える星座ですとか、伊豆の地層などは、理科にとっては非常にいい勉強であるということでしたので、下田移動教室のしおりや読本を教師に配布いたしました。子どもたちは事前研修などでテーマに分かれてそういったものも勉強しながら移動教室へ参加しているところでございます。

今後の予定については、1月15日の文教・子育て支援委員会に報告する予定を考えているところでございます。

雑駁ではございますが、説明は以上でございます。よろしく申し上げます。

教育長 ただいまの説明につきまして、御質問等ございましたらお願いいたします。

長島委員、どうぞ。

長島委員 感想と質問になってしまうと思うのですが、体育については、まとめのところ「体育の時間は楽しい」ということが重要で、これからも体育の授業が楽しくなるような工夫をしながらやってほしいというまとめになっていますけれども、そのとおりといたら変ですけど、強く共感しますので、そういった形で進めていってほしいなと思いましたがというのが一つです。

あと、体育の授業改善のところ、LGBTQと他国籍の生徒への配慮とあるのですが、この表記なのですが、他国籍の「他」が「他」よりは「多い」というほうがいいのかなと思いました。資料本体の方にもありますが。

それから、道徳については、道徳教育コーディネーターの派遣ということが言われているわけですが、道徳教育推進教師というのがあるわけですね。それと道徳教育コーディネーターというのはどういう違いというか、どういう関係にあるのかということちょっと教えていただければと思います。以上です。

指導室長 ありがとうございます。

まず、体育の方からお答えをさせていただきます。

学校現場から体育については、子どもたちは体育学習には非常に前向き、体育が好きという子が多いと校長から話を聞いております。しかしながら、こうやって結果として出ますと、

平均としてはそれぞれあるのですけれども、子どもたち1人1人は得意な運動、例えば走るのが速い子、水泳が得意な子、投げるのが上手な子、様々おりますので、荒川区としましては、総じて平均点は低いのですが、1人1人の子が楽しんで体育を学んでいこうということで、今、現場では工夫をしておるところでございます。

今回、大谷選手のグローブも頂きまして、昨日、配布をしました。そういったことも含めまして、意欲関心を高める取組というのは今後とも進めてまいりたいと思っております。

もう一つ、今、先生から御質問を頂きました道德のコーディネーターについてでございます。

各校は道德主任として、道德教育推進教師を位置付けてございます。この役割としましては、校内でのコーディネーター役を担っております。具体的には指導計画の作成、また、教員への指導です。特に若手教員に授業のアドバイスをするといった大きな役割を担っているところがございます。

今回、赤堀先生から御提案いただきました別のコーディネーターは、お聞きするところによりますと、例えば教育センター等に退職された校長先生が1人いらっしゃって、若手教員を育成するように巡回をして、それぞれの道德授業を御覧になって、そこで具体的な改善のアドバイスを、そういった仕組みを念頭に置いてお話になっていたということでございます。

人の配置が必要ですので慎重に検討しますが、まず、道德教育推進教師の指導力の向上を教育委員会としては図っていきたいと考えているところがございます。

長島委員 分かりました。ありがとうございます。

教育長 他国籍の「他」は。

指導室長 そうですね。多国籍、先生おっしゃるとおり、様々な意味がございます。今回、特に念頭にありましたのは、イスラムのお子さんがスカーフ等を巻いて、例えばそれで一生懸命走るとか、そういうときにおいてもそれを無理やり取らせるということではなく、自分でしっかり考えて参加してもらうとともに、周りで見ている周りの子どもたちがそれに対して差別的な言動なく、しっかり理解をして共に頑張っていこうというような学級集団を作るという意味も含まれてございますので、改めて検討させていただきます。

教育長 長島先生、よろしいですか。

長島委員 はい。

教育長 小林先生、いかがでしょう。

小林委員 この外部評価ですけれども、おおむね荒川区の教育事業が良好という形で的確に評価をしていただきながら課題も御指摘いただきました。改めて外部評価の重要性を感じた次

第です。

体育の方からいきますと、体育主任研修会の実施と体力に関する分析、対応した取組が各校できちんに行われているという御評価を頂いておりますし、全体として、荒川区は体力向上策を推進し、授業改善にも力を入れてきたということで、評価をしていただいていることは非常にありがたいことです。

体育の下の方で、「清里や下田の移動教室による自然の中での身体活動は大変有意義であり、卒業後も運動を続けることに繋がる」ということがありまして、この御指摘は大変に重要と思いながら読ませていただきました。

私自身は大学の中で教職課程を担当しておりまして、昨日ですけれども、教職課程の4年生で教育実習を終えてきた学生と話をしておりまして、「今までの学校教育の生活の中で何が一番楽しかった？」というので、学生12人に聞きました。ほとんどが移動教室を挙げていまして、それ以外には合唱祭、体育祭といったいわゆるイベントを挙げている学生がほとんどでした。残念ながら授業が面白かったという学生は1人もいなかったのですけれども。それだけこういった移動教室が重要なのだなと思いました。移動教室で山に登ったのが楽しくて、そうした経験があったから、大学生になって富士山に登ったとか、そういったことを言っている学生もおりまして。やはり小学校でのこういった自然の中の身体活動、極めて重要だなと思った次第です。

それで、体育に関しまして、教えていただきたいと思うのですが、調査をした赤土小学校は、荒川区の児童の体力の水準からいうと大体どのレベルにあるのでしょうか、中程度なのでしょうか。また、この調査は令和5年度の調査で、都の平均をやや下回っているということなのですが、経年的というか、長期的にはどうなのでしょう。さらに、都の中で比較的高い地域はどういった地域か、もしお分かりでしたら教えていただきたいと思っております。

次に道徳ですが、荒川区の道徳活動を非常に評価していただいております、これはとてもありがたいと思っております。

その中で、「計画的に道徳教育推進教員研修を実施しており」ということで、この実態につきまして、お分かりの範囲で教えていただければと思っております。

以上、コメントと質問です。よろしく願いいたします。

指導室長 まず、体育の方の先生の御質問にお答えさせていただきます。

今回、視察をしていただいた赤土小学校ですが、同校の結果は相対的に申し上げますと、下位の方でございます。しかしながら、今回、校長が体育専門ということもございまして、体力向上、運動能力向上には意欲を持って改善に取り組んでいる学校でございます。

2点目の経年での傾向はどうかという御質問でございますが、今、平成28年度から

令和5年度までのデータが手元にあるのですが、それを見ますと右肩上がりというか、おおむね運動能力向上は見受けられるというところがございます。

それから、東京都全体の中で高い地域はということなのですが、こちらはやはり環境面のところが多くございますので、比較的東京都の区部よりは多摩地域といったほうがよい傾向がおおむね見られるところではございます。しかしながら、お稽古事等で水泳とか、それから体操クラブ、そういったところに通っているお子さんの中にはおりますので、一概には言えないのですけれども、総じてはやはり外遊び、生活習慣といったところの基礎的な体力の醸成といったところがデータには出やすいところがあります。私どももしっかりとこの結果を踏まえて、できるところでまた家庭の方とも連携しながら向上に図っていきたいと思います。

2点目の道徳教育の研修の件でございます。こちらの方は主に授業研究、荒川区にも道徳の指導教諭がおりまして、その指導教諭の授業を参観したり、それぞれの学校の優れた取組を持ち寄って情報交換をしたりと、そうした実践的な授業改善の情報共有、情報交換をメインとしております。

また、赤堀先生もそうですけれども、講師の先生をお招きしまして、最新の道徳の動向、道徳の指導の方向性といったところをしっかりと踏まえて、各校の代表がそれを学校に持ち帰って、他の教員に周知を図るという内容になってございます。以上でございます。

小林委員 ありがとうございます。

荒川区はもともと道徳教育に力を入れてきた区ということがございますよね。

指導室長 そうなのです。ですので、今、先生がおっしゃっていただいたように、各教員、また都小道、全小道といった広域的な研究会にも積極的に参加しておりまして、そこでの研究成果等もまた持ち帰って、さらによくするというサイクルを頑張っているところでございます。教育委員会としても今後も指導していきたいと思っております。ありがとうございます。

小林委員 やはり先生方の研究会であるとか、そうした取組は非常に大事なのだなと思いがら読ませていただきました。ありがとうございます。

教育長 よろしいですか、小林先生。

小林委員 はい。

教育長 そのほかございますでしょうか。

教育総務課長 先ほどの「他国籍」のところ、再度ちょっと今、調べていましたが、文科省のところは日本国籍の方と外国籍の方が結婚した場合、多国籍の児童と定義をされているようなので、「多い」という国籍というのが二つの国のお父さん、お母さんから生まれた子がどうも定義に文科省で「多国籍児童」となっていたようでございます。ですので、ちょっと紛

らわしいところもあるので、外国籍というぐらいに修正をさせていただければと思います。

小林委員 ただ外国籍となるとどうですかね。

教育長 いずれにしてもちょっと調べさせていただきます。

長島委員 さっき発言したのは「他」というとちょっと何か自分たちと違うという感じがしてしまうと思って。

教育総務課長 御指摘いただきました先生の方からの原稿をそのまま入れてしまったものから、ちょっとそれは考慮させていただければと思います。

教育長 それでは、本件についてはよろしいでしょうか。報告書をお読みいただきまして、御不明な点等についてはぜひお問い合わせ、御確認を頂ければと思ってございます。

それでは、次に移らせていただきます。報告事項イ「令和5年度文部科学大臣優秀教職員表彰の被表彰教職員について」を議題といたします。下条指導室長、説明をお願いします。

指導室長 「令和5年度文部科学大臣優秀教職員表彰の被表彰教職員について」、御報告いたします。

御手元資料49ページを御覧ください。

今年度は1名の教員が被表彰者となっております。三富哲雄、汐入東小学校の指導教諭、担当教科は英語でございます。

主な功績内容でございます。荒川区の英語教育の体系化に多大な貢献をしたということでございます。この教員は平成27年度に当該校に着任しました後、主に荒川区小学校教育研究会の英語部で中心的な役割を担ってまいりました。成果としましては、荒川区小学校英語指導指針の改定に中心的な役割を果たしました。

それとともに、毎時間の「Lesson Plan」、1時間ごとの具体的な内容になりますが、「荒川区英語科Lesson Plan」の作成委員会におきましても、同様に中心となりまして、本区の英語教育の体系化に貢献したものでございます。このような資料につきましても、現在でも各小学校において有効活用されております。こうした取組が荒川区の英語教育の多大な貢献をしたところでございます。

さらに、この教員は指導教諭として、広く東京都全体の公立学校に向けて授業公開等をしており、多数の校内外の教員が見学を訪れるなどしており、東京都及び荒川区の英語教育全体の推進の一翼を担っているところでございます。特に、この「Lesson Plan」を区内だけでなく、実践例として広く都全体に教育効果を発揮して周知しているということも大きなポイントでございます。

さらに、記載にはございませんが、荒川区の事業であるワールドスクールに、着任した年から関わり、毎年、途切れることなく引率者として参加して、同事業の発展に尽力してきた

ところでございます。

以上のような功績をもちまして、今回、文部科学大臣優秀教職員表彰に該当したものでございます。

表彰式につきましては、令和6年1月16日火曜日、東京大学安田講堂で行う予定でございます。今回は実際に直接参加しての表彰になっております。以上でございます。

教育長 ただいまの報告につきまして、御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。

長島委員。

長島委員 この三富先生が表彰されるということで、ここに今、説明いただいたこれまでの活動内容といいますが、それにふさわしい活動をされてきたのだなと思いました。

今回、文部科学大臣優秀教職員表彰ということで、東京都あるいは全体としてどのくらいの先生方が表彰されているとか、そういったことは分かるでしょうか。

指導室長 文部科学大臣表彰の全体ですね。ちょっと今手元に資料がありません。また後ほど確認して御報告いたします。

教育長 もしこの時間で分かるようだったら御報告させていただきます。

長島委員、そのほかいかがですか。

長島委員 大丈夫です。

教育長 よろしいですか。

小林委員。

小林委員 荒川区は小学校の英語教育に大変に力を入れてきてまして、早い時期から小学校の段階での英語教育を導入したり、あるいは、今、お話がありましたけれども、ワールドスクールで小学校英語教育に力を入れてまいりました。

今回、三富先生が表彰されるということで、本当におめでたいことであると思っております。くれぐれもよろしく、おめでとうとお伝えください。

教育長 荒川区の英語教育にとって貴重な先生です。

小林委員 そうですね。本当に貴重な方だと思います。

教育長 後ほど数字については確認をさせていただくことにして、次の事項に移らせていただきます。

報告事項ウ「令和5年度東京都教育委員会職員表彰被表彰者について」、これも下条室長、説明をお願いします。

指導室長 では、御手元、51ページを御覧ください。

「令和5年度東京都教育委員会職員表彰被表彰者について」、御報告いたします。

今年度は3名、そして1学校でございます。

まず、大井川今日子、尾久小学校主幹教諭でございます。主な功績内容としましては、就学前教育と小学校教育の円滑な接続に大きな貢献を果たしました。

具体的には、令和4年度荒川区就学前教育と小学校教育との一層の円滑な接続を図るための教育課程の普及・検討委員会の委員としまして、区内幼稚園や他の小学校での実証授業等に積極的に参加し、指導助言を行ったところでございます。

こうした委員会で作成しました授業のモデルプランにつきましては、就学前施設保育者とも共有しまして、小学校ではどのような授業をしているのか、また、就学前施設ではどのように生かしていただきたいかといったところ、保幼小のつながりを意識した手だてを考えたところでございます。

次です。2人目は中島綾子、赤土小学校主任教諭でございます。こちらは図画工作の教科指導に大きな功績があったものでございます。

こちらは東京都図画工作研究会にも属しておりまして、授業者として全都に向けて授業発表等で広く貢献をしたものでございます。また、その副研究局長も務めまして、研究会を支えるとともに、指導法を東京都に広めてまいりました。その後、研究局長になりまして、東京都図画工科研究の第一線で牽引したものでございます。また、荒川区におきましても、荒川区研究会の図画工作部の研究部長を令和2年度から現在に至るまで務めております。

区内でも大きな信頼を受けておりまして、若手教員が本教員の授業を参観することも多々あると聞いております。

また、各校の展覧会にも出向きまして、展覧会の在り方、展示の工夫といったところでも、本校のみならず、他校の展覧会の内容についても、その内容の充実に尽力してきたところでございます。

3人目は上吉原悠貴、尾久宮前小学校主任教諭でございます。こちらはICT教育の推進、学校運営、算数科教育の研究に大きな功績があったものでございます。こちらは区の教育研究会で算数科を務めております。また、先日御覧いただきました尾久宮前小学校の研究推進校としてICTの利活用の推進、こちらを図りまして、校内での研究主任を務め、発表に導いたところでございます。

さらに、地域と連携した特色ある学校経営としまして、尾久宮前小学校が認定を受けておりますユネスコスクール、こちらの方にも中心として、大豆の学習をステップアップさせて、荒川区で大豆を通じた地域交流、そういったところまで高めたところ、また、和食のメニューの提案といったところも含めて、荒川区立小学校の地域連携の一翼を担ったところがございます。

次に、学校・グループでございます。荒川区立第六瑞光小学校でございます。こちらは、

人権教育の推進に大きな功績があったものでございます。

令和3、4年度人権尊重教育推進校の指定を受けまして、昨年度研究発表を行いました。さらに、引き続き今年度はじめ、令和5年度、6年度、指定を受けまして、研究を続けているところでございます。

第六瑞光小学校は思いやりの心を大切にして、思いや考えを伝え合う児童の育成をテーマとして指導に当たっております。思いやりの心を基盤とした子どもたち同士の良好な関係づくりを目指し、そのためには双方向のコミュニケーションが重要であり、一方的に伝えるだけではなく、伝え合うことを重視した取組をしているところでございます。そうした伝え合うということを中心に、主体的な学びの実現に取り組み、今回功績があったところでございます。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

教育長 ただいまの説明につきまして、御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。

小林委員。

小林委員 3名の先生方が受賞されたということで、本当におめでたいことであると思います。

また、荒川区の教育事業のために大変に御尽力を頂きました先生方ですので、本当にうれしく思っております。

大井川今日子先生ですけれども、教材開発をされたということで、これは尾久小学校だけではなく、広く荒川区全体としても活用されているのかどうかということと、こういった教材ですが、外からアクセスが可能なのかどうかということに関しまして、教えていただきたいと思っております。

それと、中島綾子先生ですが、優れた授業実践をされていられているということですが、非常に興味がありまして、具体的に何かこういった授業実践をされているということがあれば御紹介いただくとありがたく思っております。

そして、上吉原悠貴先生ですが、令和4年度から5年度、荒川区の研究推進校ということで、先日も研究発表会に行かせていただきまして、大変に活躍をされておられました。今回受賞されるということで、本当にうれしく思っております。

3人の先生方にくれぐれもよろしくお伝えください。また、今後とも荒川区のために、お力添えいただくとありがたいということでお伝えいただくと幸いです。よろしくお願いいたします。

指導室長 まず、先生方に今、高く評価いただきましたこと、本当にありがとうございます。

私の方から校長を通して、必ず御言葉を伝えさせていただきます。ありがとうございます。

では、まず大井川今日子主幹教諭についての功績でございますが、令和4年度荒川区就学

前教育と小学校教育との一層の円滑な接続を図るための普及・検討委員会がございます。こちらは区の中で、各校、公立の、また私立等の幼稚園、保育園から委員を募って活動しているものでございますので、その成果につきましては、区全体に広く活用させていただいているところでございます。

資料につきましても、こちら、東京都の研究指定も併せていただいておりますので、成果物につきましては、都の研究発表場面で広く発表しておりますので、御覧いただくことも可能となっております。

それから、赤土小学校の中島綾子主任教諭でございます。こちらは、まずはしっかりとした授業を実施しているところでございます。具体的には、授業技術だけではなくて、子どもたちに結果を恐れずにチャレンジしてやっごらんという創作意欲を大切にする指導が大変優秀であります。子どもたちも授業を楽しみにしておりますので、子どもたちが伸び伸び学ぶ姿が大変素晴らしいというところでございます。

また、教科指導に限らず、この教員は委員会、クラブ、生活面でも子どもたちに寄り添った指導、内発的動機を大切にした指導ができていているというところで、高く評価しているところでございますとともに、保護者からの信頼も厚いというところで、教科にとどまらず、学校全体の指導に大変頼りになっているといったところの功績があるところでございます。

以上でございます。

小林委員 ありがとうございます。

指導室長 よろしいでしょうか、追記で。

教育長 はい。

指導室長 先ほど長島先生から御質問いただいた文部科学省の表彰実績の件でございます。

令和4年度につきましてはですが、文部科学省としては約800名の表彰者がございました。そのうち、東京都教育委員会の表彰者につきましては120名ということでございます。よろしくお願いたします。

長島委員 ありがとうございます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、次に移らせていただきます。

報告事項工「第16回柳田邦男絵本大賞の受賞者について」を議題といたします。山下ゆいの森課長、説明をお願いします。

ゆいの森課長 「第16回柳田邦男絵本大賞の受賞者について」、報告するものでございます。

小・中学校の皆様にご多大な御協力を頂きまして、先日も報告させていただきましたとおり、今年は過去最高の1,920作品ということで御応募いただきまして、選考については一次

選考はゆいの森課事務局、二次選考は柳田邦男先生ということで選考させていただきました。受賞作品につきましては、一覧を裏面に掲載させていただいておりまして、大賞、優秀賞、佳作、努力賞、学校名、学年、氏名、題名について掲載させていただいております。

受賞作品集の作品につきましては、今後、柳田先生からのメッセージを添えまして、作品集として冊子にいたします。作品集は各図書館に所蔵するほか、図書館のホームページ上で公開する予定でございます。

私の方から以上でございます。

教育長 ただいまの説明につきまして、御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。

小林委員 この受賞者の学校名を見ると、第三日暮里小学校が多いですね。今年大変頑張ったということでしょうか。

ゆいの森課長 そのように考えております。応募者数が多ければ必ず受賞者が多くなると決まっているわけではないですけれども、今回は多かったということです。

小林委員 ありがとうございます。

教育長 第三日暮里小学校では図書館を使った研究授業をここ何年かやっていたいていまして、研究発表に先生たちが一生懸命取り組んだ成果が、子どもたちのこういった作品の質の向上にもつながっているのではないかと考えております。

小林委員 そうですね。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

今回、中学生たちも複数、優秀賞とか佳作、努力賞に入選していきまして、そういった意味では教育センターの学校図書館支援室が中学生の読書教育に熱心に取り組んでいただいた、その成果がこの絵本の分野でも着実に表れてきているかなと考えております。

杉山所長。

教育センター所長 学校図書館のこれからの啓発ということで、中学生の読書活動をしっかり推進していくということを含めて、この柳田邦男絵本大賞の方にも中学生が積極的参加するという呼びかけをして、こういった結果になったところでございます。

小林委員 そうですか。よかったですね。

教育長 長島先生、いかがでしょうか。

長島委員 中学生のことですが、中学3年生が1人いて、いいなと思いました。

教育センター所長 中学生も先ほどお伝えしたように1年生から3年生まで、しっかりとどの学年も絵本大賞に関わるような形で推進をさせていただいております。ありがとうございます。

教育長 よろしいでしょうか。後ほどまた日程の中で触れさせていただきますけれども、ぜひ

表彰式には教育委員の先生方も御出席賜れればと思っております。

本件についてはよろしいでしょうか。

小林委員 絵本大賞と直接には関係ないかもしれないのですけれども、ゆいの森が行政ナビで紹介されていますよね。大変によろしいと思いました。

ゆいの森課長 ありがとうございます。絵本大賞についてはPRをできるだけ可能な範囲でやっております。電子申請についても教育委員会に御意見を頂いて、ちょっと何百という結果にはまだ結びついてはいないのですけれども、毎年少しずつでもそれを知っていただけるようにということで努力しておりますので、また、御意見を頂ければと思います。

小林委員 絵本大賞もそうですが、ゆいの森の職員の方がとても頑張っておられます。例えば荒川区の地方テレビ局ですか、作成の映像がYouTubeに配信されているのですが、職員の方がそれぞれのコーナーに関して説明をする内容で、大変に職員の方の熱意が伝わってきますので、職員の方々にもよろしくお伝えください。

教育長 それでは、本件については以上とさせていただきます。

次に、教育委員会の日程につきまして、事務局から説明がございまして。

教育総務課長 57ページを御覧いただければと思います。

まず、一番上にあります修正箇所でございます。次回の1月26日の教育委員会定例会の開始時刻を12時とさせていただきます。少し早い時間になります。

その下の表のところを御覧いただければと思うのですけれども、1月26日の金曜日については、12時から特別会議室、この会場で定例会を行った後、第三日暮里小学校の研究発表が13時40分からでございますので、可能でありましたら定例会終了後に研究発表の方を御視察いただければなと思っております。今回、時間をちょっと早めにさせていただいたところでございます。

また、その下の1月30日については、第二ブロックの教育委員会協議会について、終了の時間が16時から19時30分までに修正させていただきましたので、今回のところからの修正箇所でございます。

また、表の下のその他の予定のところを御覧いただければと思っておりますけれども、本日、16時から合同の表彰式でございます。

また、3段目下でございます1月28日の日曜日について、柳田邦男絵本大賞の表彰式があるところでございます。以上でございます。

教育長 以上をもちまして、教育委員会令和6年第1回定例会を閉会いたします。

了